

# 事業報告書

1 支援団体名	九州建設技術フォーラム実行委員会
2 事業名称	九州建設技術フォーラム2014
3 実施日時	平成26年10月22日, 23日
4 実施場所	福岡国際会議場
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るために、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取り組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、新技術相談等の形をとりながら連携を深め九州の更なる建設技術の発展を目指すものである。</p> <p>今年のフォーラムは、新技術のさらなる開発・活用をテーマとしており、145技術について展示やプレゼンテーションを実施した。</p> <p>(1) 基調講演 「建設技術開発への新たな視点」 講演者： 京都大学名誉教授 嘉門 雅史 氏</p> <p>(2) 記念講演 「高まる建設ロボットへの期待」～建設ロボットの現状と今後の展望～ 講演者：立命館大学教授 建山 和由 氏</p> <p>(3) 技術情報</p> <p>①プレゼンテーション 発表数：(発表者数社) 47組織 (産38、学3、官6)</p> <p>②技術情報の展示 出展数：1階 維持管理技術等の実演コーナー 11ブース 2階 技術情報展示コーナー 92ブース (学会, 発注者含む)</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>発注者, 受注者の実務者間での建設技術に関する情報交換ができたことに加え, 将来を担う建設系学科に所属する学生参加者も多数あり, 非常に盛況であった。また, 今回から新たに実演コーナーや地方自治体コーナーを設ける等, 新たな試みがなされた。</p>
6 参加内訳	総人数 2,685名
	(1) 主催者参加 54名
	(2) 日本人参加 ((1)を除く) 2,621名
	(3) 外国人参加 ((1)を除く) 10名
7 今後の方針	次年度以降も継続予定

## 基調講演会場



## 記念講演



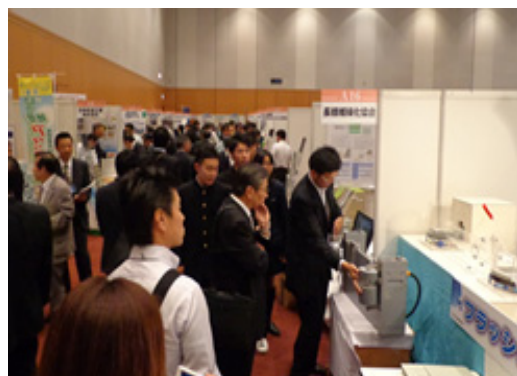
## プレゼンテーション会場



## 1F 実演会場



## 2F 技術展示会場



## 新技術相談コーナー

